

神戸市総合基本計画審議会第5回総会 議事要旨

1 開催日時：平成22年11月25日（木）16：00～17：00（於：神戸東急イン3階ボールルーム）

2 議事要旨

- ・会議に先立ち、事務局より前回会議の議事要旨(資料2)の説明を行った。また、今後、本計画の名称を「次期神戸市基本計画」から「第5次神戸市基本計画」に呼称することが説明された。
- ・会長により議事に入る旨の発言があり、事務局に対して「第5次神戸市基本計画（原案）」(案)に係る資料の説明を求めた。

(1)「第5次神戸市基本計画(原案)」について

- ・事務局より、前回第4回総会における委員意見及び会議後に事務局に届いた委員意見について、素案に反映させた「第5次神戸市総合基本計画（原案）の概要」（資料3）及び「第5次神戸市基本計画（原案）」である「神戸づくりの指針(原案)」（資料4）及び「神戸2015ビジョン(原案)」（資料5）並びに「各区計画（原案)」（資料6）の各案について順次説明がなされ、審議の結果、本案について原案とすることを審議会として決定した。また、この原案をもとに12月上旬より「神戸市民の意見提出手続に関する条例」に基づく意見募集を行うこととした。委員の主な発言は以下のとおりであった。

【神戸づくりの指針（原案）について】

- ・「障害」の表記について、ひらがな表記の「障がい」と記載をいただき感謝する。「障害」「障碍」「障がい」など表記のあり方について以前から議論があるが、私たちは単に文字の問題ではなく意識の問題として、障害というものをネガティブにではなくて前向きに捉えるようという意識を計画の中で入れていただきかけたので好感を持った。この表記は、今後も流動的であろうがそのプロセスも大事であると考えており、この基本計画で記述されたことにより問題提起にもなると思うので評価する。

【神戸2015ビジョン（原案）について】

- ・資料5の73ページの子育て状況の記述の最後あたりに、親が子育てをしやすい神戸市になっている姿、希望を書いてほしい。神戸では、不安感や負担感が減って自信を持って子育てをしている子育てのしやすいまちであり、子育てするのであれば神戸でというイメージや夢を書いてはどうか。

また、76ページの協働と参画の取り組みの中で、市民は「子どもを育てる責任の自覚と、積極的な子育て」、「社会全体で子育てをささえる認識と理解」という記述があるが、重点施策(1)妊娠・出産・育児への支援という面ではよいが、78ページの重点施策(2)保育の充実でも同じ表現となっている。同じ表現でもよいが、保育の充実であるならば、市民は「保育というものに対する理解を深める」としてもよいと考える。

- ・139ページの高度専門医療の整備について、専門病院群の記述を入れてもらいたいとの意見に対して一定の対応がされているが、これからの医療として、「再生医療」に重点を置いていくこと

をはっきり打ち出すべきではないか。懸命に研究をされており、例えば、角膜再生など「アイセンター」のようなものをつくると多くの海外の途上国の患者も助けられる。海外からそういった患者さんがこられても、短時間に手術ができることから病床も要らない。「再生医療」についてのコメントを入れてほしい。

- ・パブリックコメントの方法について、基本計画原案の資料はとても分厚くて、このままの形で区役所などでの閲覧は大変だと思う。できるだけ多くの市民にパブリックコメントをいただけるような工夫をお願いしたい。

(2) 今後のスケジュール等について

- ・会長により議事の終了が告げられ、事務局より「今後のスケジュール」(資料7)により説明があり、本日の審議結果を踏まえてパブリックコメントを実施すること、そして、次回第6回総会に向けて審議会答申案としてとりまとめを行い、2月上旬に計画を発表するスケジュールが確認された。その後、市長挨拶の後、閉会が告げられ会議は終了した。

以 上

【委員からの追加意見について】

(インクルーシブ教育について)

- ・ 障害児教育というところで、あらゆる段階において障がい児が障がい児以外の者と原則分けられず、インクルーシブ教育（共に学び共に育つ）とすることを基本とし、障がい児又はその保護者が希望するときは特別支援教育を受けることを保障されています。
インクルーシブ教育というのを計画の中に明記していただきたく思います。

(豊かな人格形成に向けて)

- ・ 子供たちの豊かな人格形成のためには芸術・文化などの体験が重要である。